

人類の進化&文明

問1. 次の(1)～(6)の文の()に適切な語句・数値を入れなさい。

- (1) 人類は、猿人・(ア)・旧人・新人と進化してきた。
- (2) アウストラロピテクスは(イ)で、ネアンデルタール人は(ウ)である。
- (3) ネアンデルタール人は約(エ)万年前に現れ、4～3万年前に絶滅したと考えられている化石人類である。ヨーロッパから西アジアに広く分布していた。
- (4) ネアンデルタール人には、眼窩上方に見られる、庇(ひさし)のように張り出した部分、いわゆる(オ)があるが、現生人類・ホモ・サピエンスにはない。
- (5) 現代人は前頭葉部分が盛り上がっているネアンデルタール人は前頭葉が(カ)である。
- (6) 明らかに(キ)された人骨が見つかっており、家族や部落の仲間の死を悼む心を持っていた。
- (7) クロマニヨン人が属するのはホモ・サピエンスです。ホモ・サピエンスとは、現在地球上に住んでいる私たちとその祖先を指す「現生人類(ク)」の学名です。
- (6) 脳の容量も現代人とほぼ同じで、現在の人類の直系の子孫だと考えられています。推定身長は、約180cmと大柄です。筋骨がよく発達し、かなり体格がよかったことが明らかになっています。歯は小さく、顎はあまり突出していません。額の後退や目の上の隆起などは見られず、旧人類とは違った容貌をしていることが特徴です。クロマニヨン人は色彩豊かな壁画や、繊細な彫刻を作っていました。中でも、フランスのモンティニャックに現存し、世界遺産に登録されている(ケ)が有名です。

<解答欄>

ア	イ	ウ	エ	オ
原人	猿人	旧人	20	眼窩上隆起
カ	キ	ク	ケ	
平ら	埋葬	新人	ラスコー動物壁画	

問2. 次の(1)～(3)の文の()に適切な語句・数値を入れなさい。

- (1) 旧石器時代は、(ア)万年前から紀元前1万年の間とされている。ホモ・ハビリスが石で道具を作り始めた時期でもある。考古学的にいうと、打ち欠かれた石の道具である(イ)石器という単純な石器を使用して狩猟・採集生活を営んでいた時代でもある。
- (2) 新石器時代地域によって違うが、オリエントの肥沃な三日月地帯では、紀元前8000年頃に、中米やメソポタミアでは、紀元前6000年頃に始まった。磨かれた石の道具である(ウ)石器を主な道具としていた時代でもある。この時期のもっとも重要な出来事は(エ)の開始であり、さらにこれに伴って土器の使用、農耕や家畜の飼育が始まり、自給自足の生活へと変わった。
- (3) 青銅器時代は多くの文明において(オ)形成の開始された時期に当たり、世界最古の文字が発明されたのもこの時期にあたる。このため、各文明においては先史時代と歴史時代の両方の面を持つ。

<解答欄>

ア	イ	ウ	エ	オ
200	打製	磨製	定住	国家